

# 図書館だより



武雄高等学校 図書指導部  
令和元年 12 月 24 日発行

2 学期お疲れ様でした☆いよいよ冬休みが始まりますね♪暖かい図書館で本を読んで過ごしてみませんか？今回は、1 年生の図書委員が”冬休みに読みたい本”を紹介します。ぜひ読んでみてください！^^



## 冬休みに読んで欲しい本

北風が肌を刺すこの季節、登下校が辛い皆さまも多いことでしょう。そんな日々に癒しの時間をお届けするために、図書委員が冬休みに読んで欲しい本を厳選いたしました！部活、大掃除などで忙しい冬休みですが、ゆっくり本を読む機会にもなると思います。この記事を読んで、「読みたいな」と少しでも思った方は是非、武雄高校図書館までお越しください。

### 『本を守ろうとする猫の話』/夏川草介

「お金の話はやめて、今日読んだ本の話をして。」

古い町並みにうずもれるようにして建つ、小さな古書店・夏木書店。この店の店主が往生したところから物語は始まる。主人公は一介の高校生である夏木林太郎。祖父の書店をたたむ準備をする彼の前に、ヒトの言葉を話す猫が現れる。

**優しく余裕のある文体で読者を癒してくれる小説です。本を読む時間があまりとれなくなった今だからこそ「本を読む」ことについて考えることが出来る本です。**



### 『冷たい校舎の時は止まる』/辻村深月

「俺たちはそんなに薄情だったのだろうか？」

大学受験を控えた主人公たちは校舎のなかに閉じ込められてしまう。主人公を含む 8 人以外の姿が見当たらず、疑心暗鬼や恐怖、不安といった感情にとらわれていく。そんな中、とあるクラスメートの名前がどうしても思い出せないことに主人公たちは気づいていく。

**ミステリー作家である辻村深月の処女作にして傑作のひとつです。この作品を読んだ後は、現実と物語の世界の判別がつかなくなるかもしれません。**

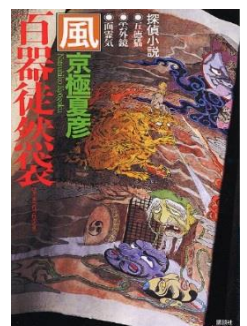


### 『百器徒然袋 風』/京極夏彦

「あれと関わると一猛烈な勢いで馬鹿になるんです」

眉目秀麗にして勇猛果敢、天衣無縫にして頭脳明晰。自称、神。調査も推理もしない天下無敵の名探偵、榎木津礼二郎である。彼にとある事件を解決してもらった「僕」はいつの間にか「下僕」と呼ばれるようになり、さまざまな事件に巻き込まれてしまう。

**『百器徒然袋 雨』との上下巻構成ですが、図書館には上記の一冊のみでした（『百器徒然袋 雨』は後日入荷予定です！）。手に取るのを躊躇してしまう人の多い京極夏彦作品ですが、面白さには太鼓判を押せます。ぜひ一度、手に取ってみてください。**





## 《新着図書案内》

### ☆☆☆『マンガ日本の古典』が入りました☆☆☆



『マンガ日本の古典』全32巻セットが入荷しました！！  
 「クイズ東大王」で有名な伊沢拓司さんがおすすめてしています☆『源氏物語』や『平家物語』、『徒然草』など授業でおなじみの作品をはじめ、いろいろな作品がそろっています^^  
 伊沢さんも推薦コメントをしている通り、マンガなので楽しみながら流れがつかめて、そのうえ試験対策に役立つかと思えます♪

古典が苦手な人、古典に興味がある人、作品名は知っていても内容が分かっていないという人…ぜひ読んでみてください！！伊沢さんの写真付きの箱に入っています^^

\*その他の新着図書→『私の消滅』中村文則/『さよなら、ニルヴァーナ』窪美澄/『森に眠る魚』角田光代/『ファーストクラッシュ』山田詠美/『背中の蜘蛛』菅田哲也/『あたしたち、海へ』井上荒野/『歩道橋シネマ』恩田陸/『ライオンのおやつ』小川糸 etc.



### ◇新任の先生方のおすすめの本紹介◇

① 大宅 健太先生（英語）

『英雄の書～すべての失敗は脳を成長させる～』

黒川 伊保子【著】（ポプラ社）



#### <おすすめポイント>

人工知能時代を駆け抜けるヒーローたちへ、人工知能の開発に携わってきた筆者が贈る本。人工知能時代において、人間の仕事は、人とは違うことに気づき、それを好奇心で追求し、失敗を糧として本質を見極め、自尊心を持って世に投じる能力に集約されるという。若い人たち（未来の英雄たち）は失敗を恐れない勇気をもたらされるはず。

②片渕 賢先生（保健体育）

『伝え方が9割』

佐々木 圭一【著】（ダイヤモンド社）



#### <おすすめポイント>

言いたいことを上手く伝える方法やお互いが良い気持ちで会話ができる方法、「ノーをイエスに変える魔法」を学ぶことができます。

新任の先生方のおすすめの本紹介はこれで最後です！今まで紹介された本は全て図書館にありますので、気になる人はぜひどうぞ☆



冬休み期間中(12/25~1/7)は 16:30 閉館です！！